

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北清水建替住宅	階数	地上9F
建設地	堺市堺区北清水町二丁88番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、準防火	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2017年7月12日
敷地面積	1,989 m ²	作成者	ニューシエック 宮原嘉成
建築面積	595 m ²	確認日	
延床面積	4,268 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.1
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	4.1
地域環境	3.0
周辺環境	2.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 計画地は、暮らしと生産の場が共存する景観として、下記3つのコンセプトに基づきまちなみの景観形成の寄与に努めるものとする。 1. 洗練・統一された都市的印象を創出するとともに、周辺との調和を図る。 2. 多様な人々のにぎわい・交流を育む明るいイメージのデザインを採用する。 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>・外構の緑化率を15%以上とします。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>・共用部にLED照明器具を採用します。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。</p>
<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。</p>	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。 ・再生砕石を使用します。</p>	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	北清水建替住宅建設工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区北清水町二丁88番	1.5	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 4,268.25 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	4	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.1	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	0.0	4	
		住居・宿泊部分	5.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.7
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
なし	
特に配慮した事項	
なし	